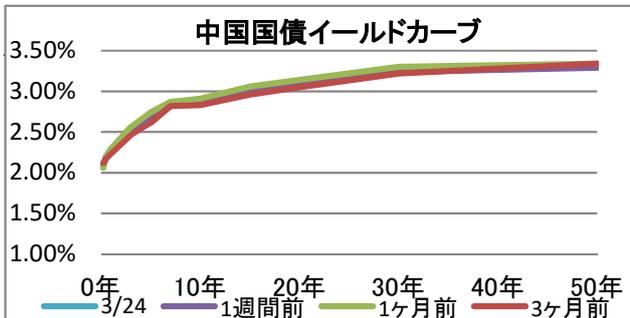
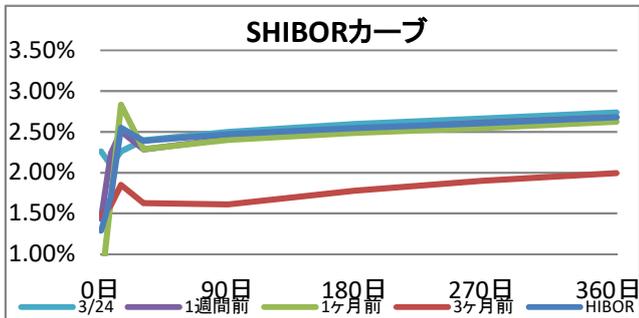


基準レート		2023/3/24	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.8374	-0.0678
	JPY/CNY	5.2286	+0.0533
SHIBOR	3M	2.4730%	-0.0270%
国債利回り	10年	2.87%	+0.01%
上海総合指数		3,265.65	+15.10



(1) 概況

国際金融市場では、金融機関に対する信用不安の収束が見通し難い中でECB、FRBともに利上げを継続したものの、FRBの今後の利上げペースについては鈍化期待が高まっており、債券市場では短期債を中心に買戻し入り、外為市場ではドル安が進んでいる。

中国金融市場では、四半期末を控えていること、中国人民銀行が預金準備率引き下げにより実質的に長期の資金供給を決めたこと、習主席のロシア訪問の影響を見極めたい国外投資家の様子見姿勢等から、株式市場、債券市場ともに総じて小幅な値動きに終始し、外為市場では米国の金融引締め鈍化期待からのドル安が続いている。

中国では、習主席が政府主催の国際フォーラムで「世界経済の回復力は不十分であり、中国の発展が世界に新たな機会を提供する」として対外開放政策を堅持する方針を示し、李強総理は、国务院の第1回全体会議で、質の高い成長を第一任務と位置づけ、科学的で的確なマクロ政策実施と総合的な対策により内需の潜在力を発揮させ、経済を好転させる方針を示し、続く地方視察では先端製造業の強化に向けた取り組みの必要性を強調。人民銀行は、27日から預金準備率を引下げるとともに、最優遇貸出金利の据え置きを決定し、銀保監会は、銀行・保険業のコーポレートガバナンス改善に向けた3年間の取り組み成果や「信託会社の信託業務分類の規範化に関する通知」を公表。易証監会主席は、香港行政長官との会談で香港の更なる国際競争力向上への支援等で合意し、証監会は「デリバティブ取引の監督管理法（パブコメ）」や「先物業者の監督管理法（パブコメ）」、「インフラ分野における不動産投資信託基金（REIT）の常態化に関する通知」を公表し、上海清算所は外貨ペア取引の中央カウンターパーティ清算業務を開始。また、海外投資家の2月末の中国債券保有高は2か月連続の減少となった。この間、米商務省が、国内半導体製造支援のための補助金が中国に利用されることを阻止する規制を公表し、TikTokの米議会公聴会を含め半導体関連やデータ管理を巡る米中摩擦の更なる激化が懸念されている。

(2) 金融市場調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日4,630億元、中央国庫現金管理商業銀行定期預金期日500億元に対し、リバースオペ3,500億元、中央国庫現金管理商業銀行定期預金900億元を実施し、ネットで730億元を吸収。27日に予定される預金準備率引き下げの効果は5,000億元と見込まれている。

(3) 主な経済指標

特になし。

② 資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	1.2880%	1.2880%	1.5000%	
1W	1.7030%	1.8500%	1.6800%	
2W	2.5500%	2.8800%	4.1500%	2.5000%
1M	2.3900%	3.0700%	5.8000%	2.5200%
3M	2.4730%	2.8500%	3.0000%	2.4500%
6M	2.5480%	2.9000%		2.5400%
9M	2.6060%	3.3500%		2.5950%
12M	2.6780%	3.6000%		2.6900%

中国人民銀行が先週末に27日からの預金準備率引き下げを決めていることから、公開市場操作は資金吸収となっているものの、月末（四半期末）越えの資金調達に対する懸念はなく、ターム物の金利水準にも大きな変化は見られない。ターム物は、1ヶ月が2.9%台まで上昇して取引されている以外、出合いは限定的となっている。

NCDも、銀行の調達姿勢は強いものの、取り急ぐ状況ではないことから、狭いレンジ内での取引が続いている。ターム物の金利水準は、1ヶ月が2.55%前後、3ヶ月が2.45%前後、6ヶ月が2.5%前半、1年が2.6%台後半で取引されている。

(2) 米ドル資金（本土内）

	BID	OFFER
ON	4.85%	4.90%
1W	4.95%	5.00%
1M	5.15%	5.20%
3M	5.30%	5.35%
6M	5.30%	5.40%
12M	5.30%	5.50%

FOMCでは0.25%の利上げが実施されたものの、信用不安の高まりによるFRBの引締め見通しの不透明感に加え、四半期末を控えていること等から、ターム物の出合いは限定的。ターム物の金利水準は、1ヶ月は5.2%前後で、3ヶ月は5.35%前後で小口の取引が見られた。

③人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	2.08%		2.47%	2.58%	2.74%
6M	2.19%		2.57%	2.64%	2.80%
1Y	2.27%	2.36%	2.69%	2.78%	2.95%
3Y	2.52%	2.65%	2.88%	3.08%	3.65%
5Y	2.69%	2.80%	3.02%	3.34%	4.04%
10Y	2.87%	3.05%	3.24%	3.54%	4.36%

急激な金融引き締めによる欧米での信用不安の拡大やFRBの金融引き締め姿勢の軟化等を材料に、欧米の債券利回りはFRBの利上げ直後に上昇したものの、その後は低位で安定している。中国国内債券市場では、四半期末を控えていることもあって、全人代以降の新国務院メンバーによる政策を見極めたいとの様子見姿勢から小幅な値動きが続いている。米国では早期利上げ停止期待が高まったことから債券利回りが低下しており、10年国債利回りは3.38%（前週比-5bp）で週末を迎えており、10年中国国債（2.87%、+1bp）に対する上回り幅は+51bp（同-6bp）に一段と縮小している。

イールドカーブは、短期の信用債利回りが低下した以外に動きは見られず、信用債は若干ながらスティーピングしている。クレジットスプレッド縮小が続いているものの、依然として四半期末を控えた調整の範囲内。

④先物為替市場

	USD / CNY
1M	-191.0 / -190.0
3M	-546.0 / -542.0
6M	-975.0 / -970.0
9M	-1300.0 / -1320.0
12M	-1575.0 / -1565.0

対ドル基準レートは6.8374と前週末比-678pipsのドル安元高、対円基準レートは5.2286と同+533pipsの円高元安と、市場でのドル安を映じた設定となっている。中国国内市場では、FOMC前の様子見姿勢による小動きから、FOMC後にドル安となったものの、下値では実需のドル買いも入り、6.85を挟んだレンジ内での取引が続いている。

先物は、米国の金融引き締め見通しを材料にFOMC前には1年が-1500台前半まで強含んだ後に一旦は-1600台に戻っていたものの、米国の金融引き締め姿勢の後退を織り込む格好で-1500台に戻して週末を迎えている。

⑤金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	2.30%		1.70%
6M	2.32%	2.53%	1.90%
9M	2.34%	2.57%	1.92%
1Y	2.37%	2.64%	2.01%
3Y	2.64%	3.00%	2.05%
5Y	2.84%	3.25%	
7Y	2.97%	3.39%	
10Y	3.11%	3.51%	

スワップ金利も、債券市場同様に動意なく、債券利回りとの金利差であるスワップスプレッドもほぼ前週末水準で変わらない状況となっている。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。

◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しの書面や目論見書をよくお読みください。